

**IBM Contact Optimization**

バージョン9 リリース1

2013 年 10 月 25 日

**リリース・ノート**

**IBM**

**お願い**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、11 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Contact Optimization バージョン 9、リリース 1、モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

**原典：** IBM Contact Optimization  
Version 9 Release 1  
October 25, 2013  
Release Notes

**発行：** 日本アイ・ビー・エム株式会社

**担当：** トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 2003, 2013.

---

## 目次

システム要件と互換性 . . . . .	1	IBM 技術サポートに連絡する前に . . . . .	9
バージョン 9.1.0 の新機能および変更点 . . . . .	1	特記事項 . . . . .	11
修正された問題 . . . . .	3	商標 . . . . .	13
既知の問題 . . . . .	3	プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項 . . . . .	13
既知の制限 . . . . .	5		
バージョン 9.0.0 の新機能および変更点 . . . . .	6		
IBM EMM 製品におけるブラウザの振る舞い . . . . .	7		



---

## システム要件と互換性

このセクションでは、IBM® Contact Optimization の今回のリリースについて以下の情報が提供されます。

- システム要件および互換性情報をどこで入手できるか
- サード・パーティーのソフトウェアへのサポートの変更点

Contact Optimization は、IBM EMM スイート製品の一部として作動します。

Contact Optimization バージョン 9.1.0 は Campaign 9.1.0 が必要です。

Contact Optimization 9.1.0 へのアップグレードは、Contact Optimization バージョン 8.5 以降から行えます。手順については、「*IBM Contact Optimization* インストール・ガイド」を参照してください。

実稼働インストール済み環境の場合、Contact Optimization は 64 ビットのオペレーティング・システムのみをサポートします。

### 完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM EMM 製品のバージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という文書を参照してください。この文書は、IBM サポート・ポータル Web サイト (<http://support.ibm.com>) の『詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)』の下に掲載されています。

注：サポート・ポータルから IBM EMM の文書にアクセスするには、IBM アカウントでログインする必要があります。このアカウントは、ご使用の IBM お客様番号に結び付けられている必要があります。アカウントの IBM お客様番号との関連についての詳細は、サポート・ポータルの「サポート・リソース」 > 「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

IBM EMM にログインした後、「ヘルプ」 > 「製品資料」を選択することによって、この文書にアクセスすることもできます。

---

## バージョン 9.1.0 の新機能および変更点

IBM Contact Optimization のバージョン 9.1.0 で以下の新機能および変更が導入されました。

### Agent Capacity Optimization

9.1 リリースでは、Contact Optimization ユーザーはブランチまたはエージェント・チャンネルを通じて Optimization も使用できるようになりました。Agent Capacity Optimization を使用して、エージェントからの重要度の高いオファーを、重要度の高いコンシューマーに順序指定します。特定のオファーを一部のエージェントを通してコンシューマーにルーティングすることによって、重要度の高いコンシューマーと一対一のコンタクトが確保され、マーケティングへの投資に対するリターンを増

やすことができます。Contact Optimization セッションを作成する間に Agent Capacity Optimization を使用するには、エージェント・チャンネルとみなされるキャンペーン・チャンネルを宣言する必要があります。このチャンネルを介して推奨されるすべてのオファーはエージェントを介して順序指定されます。セッションに対して Agent Information テーブル 1 つと、Agent Customer Relationship テーブル 1 つを指定します。次に、エージェント・チャンネルで「クロス・カスタマーの最小/最大オファー数 (Cross Customer Min/Max # Offers)」キャパシティー・ルールを定義します。

## UpdateSessionTableStatistics

UpdateSessionTableStatistics パラメーターは、Optimize セッションの実行中に PCT テーブル、RC テーブル、および POA テーブルの統計を更新するための照会を追加します。このパラメーターは、他のセッションに影響を与えることなく、セッション・レベルでチューニングできます。インデックスの統計を最新のものにしておくことによって、これらのテーブルの照会のパフォーマンスを向上させることができます。このパラメーターは、Optimize のグローバル構成設定にもあります。

## iLog による FICO 置換

Contact Optimization では、これまでの IBM 以外の技術に代わる IBM CPLEX Solver を使用して、各キャンペーン・ターゲットに対する最善のオファーを選択するために必要な数値計算を使用するようになりました。IBM 独自の最適化技術により、IBM の示したロードマップが順調に遂行されていることを確認したり、製品チームが今後は密に共同作業することができるようになり、それによって Contact Optimization 製品は常に最高のパフォーマンスを発揮することができます。

## 最大キャパシティー消費を有効にする

チャンネル・キャパシティーを活用しない Contact Optimization 結果戻された場合、EnableMaxCapacityConsumption を有効にしてチャンネル・キャパシティーのロスを削減します。次に、Contact Optimization セッションを再実行します。パラメーターが EnableMaxCapacityConsumption true に設定されている場合、Contact Optimization はクロス・カスタマー・ルール (最小/最大オファー数キャパシティー・ルールおよびカスタム・キャパシティー・ルール) を満たすように、強化されたアルゴリズムを使用します。ただし、これが使用される場合、セッションに提供するデータによってはセッションの実行時間が長くなる可能性があります。

## IBM EMM のインストールおよびアップグレードの改善点

インストールおよびアップグレードのプロセスは、以下の点が改善されています。

- すべての製品のインストール・ガイドが改訂され、それぞれ別々のインストールおよびアップグレードのガイドに再編成されたことで、情報の検索や使用がしやすくなりました。
- インストーラーでユーザーが入力する情報についてわかりやすい説明が含まれるようになったり、インストールの各段階で行う手順が明確にわかるように、インストーラーが改善されました。
- 各インストーラーには、製品のインストールおよびアップグレード・ガイド (PDF および HTML) を直接参照できるリンクが含まれるようになりました。

## ターゲット・セル・スプレッドシートに関する文書の変更

「Contact Optimization ユーザー・ガイド」の『ターゲット・コントロール・スプレッドシートと事前に最適化されたフローチャート (The target control spreadsheet and pre-optimization flowcharts)』は『ターゲット・セル・スプレッドシートと事前に最適化されたフローチャート (The target cell spreadsheet and pre-optimization flowcharts)』に変更されました。

また、事前に最適化されたフローチャートで、TCS コントロール・セルを Optimize プロセス・ボックスに関連付けないようにしてください。最適化をした後で、コントロール・セルを宣言してください。

## 修正された問題

このセクションでは、IBM Contact Optimization バージョン 9.1.0 で修正された問題をリストしています。問題は、問題番号、そしてインシデント番号 (当てはまる場合) の順に並んでいます。

問題 ID	説明
問題 7620	「分析」タブの「レポート実行」ドロップダウン・リストが切り捨てられる問題
問題 7628	エラー・メッセージのフォントが小さすぎて読みづらい
問題 4488	Contact Optimization Session の「ルール」タブのチェック・ボックスが一部のストリングを覆っている
問題 1692	Optimize セッションを作成して保存した後にセッションを編集して空白の名前を付けると、エラー・メッセージが表示されないまま前のセッション名が更新されません。
問題 9140	ContactOptimization-ja: 「レポート・タイプ」ドロップダウン・リストが切り捨てられる
問題 11540	AIX 上の FEC 最小/最大ルールによる Optimize サーバーの異常終了
問題 5150	TRYING TO REMOVE STALE PROPOSED RECORDS FROM PCT エラーで Contact Optimization セッションが失敗する。

## 既知の問題

このセクションでは、Contact Optimization 9.1.0 における既知の問題をリストします。

問題	問題 ID	説明
ContactOptimization-zh_CN, KO: 4 ページ目のレイアウトと配置に不具合がある	問題 7637	ContactOptimization-zh_CN, KO: 4 ページ目のレイアウトと配置に不具合がある
Campaign を 9.1 にアップグレードした後に、Optimize リスナーを ACOServer.sh から停止できなくなった。	問題 81245	ユーザーは Campaign と Contact Optimization を同時にアップグレードする必要があります。それができない場合は、manager/kill コマンドを使用して、手動で Contact Optimization リスナーを停止する必要があります。

問題	問題 ID	説明
マルチバイトのオーディエンス・レベル名を使用すると Contact Optimization セッションの作成は失敗する。	DEF023178	マルチバイト文字を使用する非英語言語がオーディエンス・レベル名に使用された場合、Contact Optimization はそのオーディエンス・レベルを含む Contact Optimization セッションを作成することに失敗します。この問題を回避するには、オーディエンス・レベル名に英語か 1 バイト文字セットを使用してください。
ACOOptAdmin ユーティリティーのエラー・メッセージが非英語のロケールに従って表示されない。	DEF051284	英語以外のロケールで ACOOptAdmin コマンド・ライン・ユーティリティーを実行するとき、指定されたロケールに従ったエラー・メッセージが表示されません。エラー・メッセージは英語でのみ表示されます。
Campaign リスナーによって使用されるのと同じ非英語ロケールを Contact Optimization リスナーは自動的に使用しない。	ENH11618	<p>非英語のロケールを使用してインストールされた Campaign および Contact Optimization のインストール済み環境では、Contact Optimization リスナーは常にインストールされたロケールではなく英語で開始します。</p> <p>この問題を回避するには、Contact Optimization リスナーを開始するために使用したコマンド・ウィンドウまたはバッチ・ファイル (ACOServer.bat または ACOServer.sh) で、set LANG=xx_XX を使用して以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブラジル・ポルトガル語 - pt_BR</li> <li>• フランス語 - fr_FR</li> <li>• ドイツ語 - de_DE</li> <li>• イタリア語 - it_IT</li> <li>• 日本語 - ja_JP</li> <li>• 韓国語 - ko_KR</li> <li>• 中国語 (簡体字) - zh_CN</li> <li>• スペイン語 - es_ES</li> </ul> <p>UNIX システムでは以下のコマンドを使用します。</p> <pre>LANG=xx_XX export LANG</pre>
unprocessables_sessionid.csv にオファーを受けた顧客が含まれている可能性がある。	DEF054841	一部のシナリオでは、オファーを受けた少数の顧客が unprocessables_sessionid.csv ファイルに含まれている可能性があります。
特定の環境ではカスタム・キャパシティー・ルールの最適化の結果が不正確である。	DEF058362	<p>以下の基準を満たす顧客は、受け取るオファーが希望していたよりも少なくなる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客の推奨トランザクションが偶数である。</li> <li>• これらの各トランザクションは同じスコアである。</li> <li>• このスコアは低い値である。</li> </ul>
いくつかのラベルが、日本語、中国語、および韓国語で正しく表示されない。	DEF059595	いくつかの翻訳されたラベルが正しく表示されていません。例えば、スコア行列を手動で編集した場合、テーブルの右側の垂直ラベルは逆さまに表示されます。また、「セグメント内の顧客」を含む最適化ルールの場合、「セグメント」ラベルは 2 行に表示されます。



問題	問題 ID	説明
「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートで、各カスタム・キャパシティー・ルールによって削除される推奨コンタクト数が不正確に表示される。	DEF059805	この Contact Optimization セッションの参加フローチャートに複数のコンタクト日付および異なるチャネルの各顧客に対する複数のオファーが含まれている場合、「オファー・サマリー」レポートでカスタム・キャパシティー・ルールの「このルールにより除外」列には不正確な数が表示されます。
オファー・バージョンの照会ビルダーの問題。	DEF060676	オファー・バージョンの照会ビルダーに以下の小さい問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 選択ボックスのフォーム要素タイプを持つカスタム属性の場合、オファー・バージョンの照会ビルダーは選択ボックスを使用しません。値を手動で入力する必要があります。</li> <li>• グループ・レベルが削除された場合、サブグループの条件が親の条件に追加されず（逆もまた同様）。</li> <li>• ストリング変数用にすべての算術演算子が表示されていますが、適用されるのは「等しい」と「等しくない」だけです。</li> <li>• 条件の入力の際に、属性の定義された長さは検証されません。</li> </ul>
日付を含んだオファー・バージョン・ルールは予期した最適化結果を提供しない。	DEF061554	日付を含んだオファー・バージョン条件を作成した場合（例えば、オファー・パラメーター「valid end date」が「12/31/2011」に等しい）、オファー・バージョン条件を含むルールは満たされない場合があります。ただし、それ以外のルールは予期した通りに動作します。
「レスポンス応答 XML にはデータ xml 要素が欠落しています (Response XML is missing the data xml element)」というエラーにより Contact Optimization セッション実行が失敗する。	DEF061116	このエラーを受け取った場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。また、分析のために Contact Optimization サーバーのログも送ってください。
暦年をまたがるルール例外は不正確な結果になる。	DEF061639	暦年をまたがる（例えば、2011/07/01 から 2012/06/30）「最小/最大オファー数」キャパシティー・ルールのルール例外を作成した場合、ルールの例外条件を含むルールは満たされない場合があります。ただし、それ以外のルールは予期した通りに動作します。

## 既知の制限

このセクションでは、Contact Optimization 9.1.0 における既知の制限をリストします。

問題	番号	説明
負のスコアは不正確なルールのクレジットの原因となる。	DEF041400	負のスコアを使用した場合、「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートのルールのクレジットは正確でない場合があります。  負のスコアを使用したオファーは、最小要件を満たすためにだけに指定されます。

問題	番号	説明
オファ어의割り当てがある TCS にリンクされているセルは Optimize プロセスに表示されない。	DEF061355	Optimize プロセスが 1 つ以上のセルに接続され、その後アップストリーム・セルがターゲット・セル・スプレッドシートのプロセス (TCS) で定義されているトップダウン・セルにリンクされる場合、TCS に割り当てられているオファ어は Optimize プロセスに自動的に表示されません。TCS にある任意のトップダウン・セルにリンクしてから、それらのセルを Optimize プロセスに接続してください。それ以外の場合、Optimize プロセス内の同じオファ어를手動で割り当てるか、または Optimize プロセスを削除した後に再作成する必要があります。
片方向 SSL で AC00ptAdmin ユーティリティーを実行するにはさらにセットアップが必要。	DEF046832	セキュリティー証明書を登録し、ホスト名およびドメインを指定し、AC00ptAdmin.bat ファイルで SSL_Options を構成しないと、AC00ptAdmin ユーティリティーを片方向 SSL で使用することはできません。
unica_acosvr プロセスが停止した場合に最初の試行でセッションを実行することができない	DEF055010	<b>kill</b> コマンドを使用して unica_acosvr を停止して、次に Contact Optimization セッションを実行しようとした場合、「IBM Optimize サーバー・プロセスで不明な通信障害が発生しました (An unknown communication failure has occurred with the IBM Optimize server process)」というエラーで失敗する可能性があります。  <b>回避策</b> - Contact Optimization セッションを再度実行して正常に完了させてください。

## バージョン 9.0.0 の新機能および変更点

IBM Contact Optimization のバージョン 9.0.0 で以下の新機能および変更が導入されました。

### IBM Unica® Optimize の名前変更

IBM Unica Optimize は、現在は IBM Contact Optimization と呼ばれています。

デフォルトのインストール・ディレクトリーは ContactOptimization に名前が変更されました。

Optimize セッションは、現在は Contact Optimization セッションとラベル付けされています。

### ContinueOnGenerationLoopError

新しい構成プロパティー ContinueOnGenerationLoopError があります。「生成ループはスラック変数および余剰変数をすべて除去できませんでした (The generation loop was unable to eliminate all slack and surplus variables)」エラーを受け取る場合、ContinueOnGenerationLoopError を使用して、Contact Optimization セッションを続行できます。詳しくは、「IBM Contact Optimization トラブルシューティング・ガイド」を参照してください。

## フローチャートの変更

IBM Campaign フローチャート・ワークスペースを再設計して、ルック・アンド・フィールドを変更し、ユーザビリティを改善します。

現在、フレームワークは Active-X の代わりに Dojo コンポーネントに基づいていません。

再設計には、フローチャートおよびレポート・コンポーネント (ツールバー、ダイアログ・ボックス、進捗状況インジケータ、および関連するコントロールを含む) の外観への変更が含まれます。全体的な機能は変更されていません。ただし、いくつかのマイナー機能は異なっています。詳しくは、「*IBM Campaign* リリース・ノート」および「*IBM Campaign* ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

## ロシア語の言語サポート

ロシア語がサポートされるようになりました。ロケール設定については、「*IBM Marketing Platform* 管理者ガイド」を参照してください。

## IBM EMM 製品におけるブラウザの振る舞い

IBM EMM 製品には、ブラウザに関する制約事項や要件がいくつかあります。

### サポートされるブラウザ

サポートされるブラウザのリストについては、バージョン 9.1.0 向けの「*IBM Enterprise Marketing Management Recommended Software Environments and Minimum System Requirements*」を参照してください。

### ポップアップ・ブロッカー

ブラウザまたはツールバーなどのブラウザのアドオンで、ポップアップ・ブロッカーを無効にする必要があります。ポップアップ・ブロッカーは、フローチャート・ウィンドウが開くのを妨げます。

### ナビゲーションの方法

ブラウザのコントロールは、ナビゲーションに使用しないでください。例えば、ブラウザの「戻る」や「進む」ボタンを使用しないでください。その代わりに、IBM EMM ユーザー・インターフェースにあるコントロールを使用してください。

### Internet Explorer の複数のブラウザ・ウィンドウの使用

この制約は、IBM Campaign で Internet Explorer (IE) を使用する場合は、Campaign フローチャートを使用するモジュール (eMessage、Contact Optimization、Interact、Distributed Marketing) を使用する場合に適用されます。

横並びの情報を表示するために複数回ログインする場合は、IE を開いて IBM EMM にログインする必要があります。次に、IE メニュー・バーで「ファイル」 > 「新規セッション」を選択します。IE ブラウザーの新規ウィンドウで、同じユーザー、または異なるユーザーとして IBM EMM にログインします。

**重要:** 他の方法を使用して複数のセッションを開かないでください。例えば、新しいタブを開くことや、「スタート」メニューやデスクトップ・アイコンから新しいブラウザー・セッションを開くことや、IE の「ファイル」>「新規ウィンドウ」を使用することのないようにしてください。これらの方法を使用した場合、アプリケーションに表示される情報が破損する場合があります。

詳しくは、「*IBM Campaign* ユーザー・ガイド」を参照してください。

---

## IBM 技術サポートに連絡する前に

文書を参照しても問題を解決できない場合には、IBM テクニカル・サポートにお問い合わせください。御社指定のサポート担当者は通話を記録できます。問題を効率的に首尾よく解決するために、以下のガイドラインを利用してください。

御社の指定サポート担当者ではない場合は、最寄りの IBM 管理者に連絡し情報を入手してください。

### 収集する情報

IBM テクニカル・サポートに連絡する前に、以下の情報を収集してください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細
- 問題を再現するための詳細な手順
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル
- 製品およびシステム環境に関する情報。これは、『システム情報』の説明にしたがって取得することができます。

### システム情報

IBM テクニカル・サポートへお問い合わせいただく際に、お客様の環境に関する情報の提供をお願いすることがあります。

問題が発生してもログインが可能である場合は、この情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。ここでは、インストール済みの IBM アプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページを表示するには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択します。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合は、ご使用のアプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを確認してください。

### IBM テクニカル・サポートへのコンタクト情報

IBM 技術サポートと連絡を取る方法については、IBM 製品技術サポートの Web サイト ([http://www.ibm.com/support/entry/portal/open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request)) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、ご使用の IBM お客様番号に結び付けられている必要があります。アカウントの IBM お客様番号との関連についての詳細は、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。



本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
170 Tracer Lane  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。



できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://ibm.com)<sup>®</sup> は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

---

## プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項

IBM ソフトウェア製品 (Software as a Service ソリューションを含む) は、お客様の使い勝手の向上や、お客様とのコミュニケーションを円滑に進めるための調整、あるいはその他の目的で、Cookie (クッキー) やその他のテクノロジーを使用して、製品の使用状況の情報を収集することがあります。クッキーは、ウェブサイトからお客様のブラウザに送信できる少量のデータであり、ご使用中のコンピューターに、お客様のコンピューターを識別するタグとして保存されることもあります。ほとんどの場合、クッキーによって個人情報が収集されることはありません。ご使用のソフトウェア製品がクッキーおよび同様のテクノロジーを通してお客様の個人情報の収集を可能にしている場合は、以下の内容について詳細をお知らせします。

デPLOYされた構成によっては、このソフトウェア製品は、セッション管理、お客様のユーザビリティの向上、または他のご使用状況の追跡または機能上の目的のために、お客様のユーザー名その他の個人情報を収集するセッション・クッキーおよびパーシスタント・クッキーを使用することがあります。これらのクッキーを無効にすることは可能ですが、無効にすることで、クッキーによる利便性も同時に失われます。

クッキーおよび類似したテクノロジーを通じた個人情報の収集に関しては、さまざまな法的規制が存在します。このソフトウェア製品にデPLOYされた構成によって、お客様がサイトの管理者としてクッキーその他のテクノロジーを通してエンド・ユーザーの個人情報を収集できるようにしている場合は、エンド・ユーザーに対して通知をし、必要な場合は同意を求めるなどの必要な処置を含めて、そのようなデータ収集に適用される法律に関する知識を取得し、準備をしておく必要があります。

IBM は、お客様がお客様のエンド・ユーザー (お客様の Web サイトの訪問者) に対して次のことを実施されるようお勧めします。(1) お客様の Web サイトの「ご利用条件」(すなわち、「プライバシー・ポリシー」)へのリンクがはっきりと目に見えるように提供されていること。そのリンクには、IBM へのリンク、および訪問者

に関するデータ収集と用途について説明したリンクが含まれていること。(2) お客様に代わって IBM が訪問者のコンピューター上にクッキーおよび明らかにそれと分かる GIF/Web ビーコンを置き、そのテクノロジーの説明も一緒に表示することを通知すること。(3) お客様またはお客様に代わって IBM がクッキーおよび明らかにそれと分かる GIF/Web ビーコンを置く前に、法律で必要とされる範囲の、訪問者からの許諾を得ること。

このような意図による、クッキーを含めたさまざまなテクノロジーの使用に関する情報は、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント」(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja>) の『クッキー、Web ビーコン、その他のテクノロジー』の節を参照してください。





Printed in Japan